

## heimtextil 2014 - 2015 QUALITY TREND

Reporter 北原 6/9

## ■ クオリティー傾向

最先端なテクニックを感じさせるモノやクラフト感を感じさせるモノも、全体的に控えめで(こなされた)上質感を印象付ける。ここでも技術革新による様々なモノづくりの手法が普及し、アップデートが繰り返されている。

## プログラミングされた幾何学的な立体感と柔軟性

織地や織地、キルティング、プリーツ、エンボス加工、レーザーカットによる凹凸の表面デザイン。近年の軽量素材は、さらなる進化を選び、テクスチャーのバリエーションを拡大。



## 素材で美しいリラクソリネン

ウォッシュ加工により、よりソフトでユーストな味合いを与える。ウォッシュアウトワッフル、ゆるーい手編み風、切りっぱなしの端やブレード、温かみのあるナチュラルなグレイッシュカラー



## デジタルクラフト

規則正しいアップリケ、曲線的なステッチ&アップリケ、テープ状にカットして組み込んだ仕上げ、ビーズや刺繍をミックスした装飾、グラデーションクロスステッチ、シンプルで洗練された感あり。



## 質感×光沢テクスチャー

ニュートラルな色合いをベースに箔プリントや光沢糸仕様の控えめなラグジュアリー感を作る。アブストラクトなパターンが角度によって光沢の質感を変化させ表面効果を与える。



## heimtextil 2014 - 2015 PATTERN TREND

Reporter 北原 7/9

## ■ パターン傾向

自由奔放なデジタルなパターンバリエーションが継続している。ジオメトリックタイプ、フラワーモチーフ、エスニックやフォリアルなどのパターンデータをベースに、より質感を高め、クリエイティブな模倣を加えたり、アート感覚あふれるアートワークでファブリックを大胆にインパクトを与える。

## 質感豊かなアブストラクト

ダメージな表面効果で奥行つける/あいまいでまだらな感じろうけつ染め/アブストラクトのパターンオンパターン



## ミックス&amp;マッチ

フォークロアをポップに表現/ベイズリーや更紗を新感覚にカラージュ/アンバランスな色使いや差し色



## にじみ、ぼかし、マーブル・重なり交じり合う表現

ぼんやりとしたフローラル調/ボタニカルなモチーフのレイヤーアート/インクぼかし調



## フォトテクニックを用いたアートワーク

ユニークなアニマルフェイス/カメラワークを活かしたフォトモチーフ/3D画像の陰影によるリアル感

